

2. 終了時評価用 P D M

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段		外部条件
(上位目標) IWTI が産業界に対し、工業用水供給、水使用合理化及び工業排水処理・再利用の各技術を指導できるようになる。	1. 工場への技術指導の結果	1. 工場に対する技術指導の記録 2. 工場へのインタビュー	a. タイ政府が工業排水処理に関する政策を継続する。 b. タイ経済が急速に悪化しない。 c. タイ産業が、IWTI の技術指導を受け入れる。 d. タイ産業が排水処理施設の導入に投資する。	
(プロジェクト目標) IWTI において、工業用水に関する基礎技術を身につけた技術者が組織的に育成される。	1. 基礎技術を身につけた、カウンターパートの数 2. カウンターパートの技術レベル	1. カウンターパートのリスト 2. カウンターパート、日本人専門家へのインタビュー 3. 工場実習レポート 4. セミナー結果(参加者への質問)	a. タイ産業が IWTI の役割を認め、サポートする。 b. カウンターパートが IWTI に継続的に勤務し、経験を蓄積する。 c. DIW が IWTI の活動を支持する。	
(成果) 0. プロジェクト組織が確立され、効率的に運営される。 1. 工業実習に必要な基礎的な計測・分析機器が整備され、適切に維持管理される。 2. 工業用水関連技術が IWTI のカウンターパートによって習得される。 3. 工場における用水使用の現状が、IWTI カウンターパートによって把握される。 4. IWTI の中長期的な事業計画が策定される。	0. IWTI のスタッフ、予算・支出実績 1. 機材の使用・維持管理状況 2. 技術移転結果/カリキュラム・教材の内容 3. 工場実習結果/レポートの数・内容 4. IWTI の中長期事業計画	0. スタッフ、予算・支出実績リスト 1. 機材リスト/使用・維持管理状況記録 2. 技術移転記録/カリキュラム・教材 3. 工場実習記録/レポート 4. IWTI の中長期事業計画	a. カウンターパートが IWTI に継続的に勤務する。 b. DIW が IWTI の中長期事業計画を承認する。 c. 工場実習に関し、工場の継続的な協力が得られる。	
(活動) 0-1. 計画どおりにスタッフを配置する。 0-2. プロジェクトの活動計画を策定する。 0-3. 予算計画を適切に策定、実行する。 0-4. 合同調整委員会を設立し、運営する。 1-1. 工場実習に必要な計測・分析機材の供与・購入を行う 1-2. 機材の使用・維持管理計画を策定する。 1-3. 機材を恒常的に使用し、定期点検を実施する。 2-1. OJT を通じ、C/P の技術レベルを把握する。 2-2. C/P に対する技術移転計画を作成する。 2-3. C/P に対する技術移転カリキュラムを作成する。 2-4. C/P に対する技術移転教材を作成する。 2-5. C/P に対し、講義による技術移転を実施する。 2-6. 基礎技術に関するマニュアル、標準様式を作成する。 3-1. 工場に対する質問表を作成する。 3-2. モデル工場を選定し、実習の計画を作成する。 3-3. C/P に対する工場実習による技術移転を実施する。 3-4. 工場実習の結果をレポートにまとめる。 3-5. 工場実習で得たエンジニアリング・データを整理する。 3-6. 工場に対する改善提案の例を作成する。 3-7. セミナーを開催する。 4-1. ターゲットとする業種、工場規模、地域を選定する。 4-2. 研究所の中長期的な事業計画を策定する。 4-3. 研究所の中長期的な施設、機材整備計画を策定する。 4-4. 研究所の中長期的な予算計画を策定する。	投 入		外部条件	
	タイ側 IWTI 活動に必要な予算措置 プロジェクトマネージャー及び 10 名のフルタイムカウンターパートの配置 事務職員の配置 建物・施設 機材	日本側 長期専門家 (3名×24ヶ月) ・チーフアドバイザー/排水処理・再利用 ・調整員 ・工業用水供給/水使用合理化 短期専門家 基礎的計測・分析機器 C/P 研修 2名 プロジェクトの運営費用のサポート		a. 工場実習において基礎的計測と分析のための着飢餓、円滑に調達される。 b. 工場実習に関し、工場の継続的な協力が得られる。 (前提条件) a. IWTI が DIW の下に正式に設置される b. IWTI の建物と設備が準備される。 c. 工場が工場実習に協力する。 d. DIW にある関係情報・データが利用可能である。